

自律神経失調症

患者様情報

来院されるまでの症状

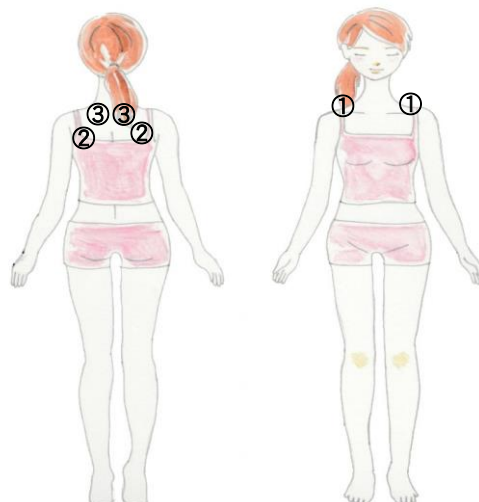
- ・ 幼少期から疲れやすく、倦怠感などの症状が日常化していたそうです。
- ・ 原因不明のまま成人し、会社で健康診断を受けたら膠原病であることが発覚しました。
- ・ 膠原病に有効なステロイド薬の投与を開始しましたが、副作用が強く、身体に負担がかかりすぎたため治療を断念せざるをえなかったようです。
- ・ 西洋医学で治療が難しいと判断し、東洋医学による体質改善で克服しようと考えるようになったそうです。
- ・ そこで、鍼灸治療を専門としている「鍼灸院秀鳳」に興味を持ち、来院されました。

患 者 様	30 代
初 診	2020 年 12 月
既 往 症	膠原病
他 の 症 状	交通事故による後遺症(右腰、右臀部、右ハムストリングスの強打)、生理前症候群(暴言、イライラ)

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・ 初診時、膠原病でよくみられる倦怠感、身体のこわばりがみられました。
- ・ 身体を触ってみると、全身が緊張していて力の抜き方を忘れたような状態でした。特に背中中の筋緊張が強く、そのせいか呼吸が浅いようにみえました。
- ・ 背中中の脊際を中心に優しい鍼を施しながら筋緊張をとるように心がけました。
- ・ 背中中の筋緊張がとれ呼吸が整ってきたので初診の治療を終えました。
- ・ 治療後、「呼吸が深く吸えます」と喜んでいらっしゃいました。



■ 初診後の経過

- ・ 治療を始めてからは、以前のような身体のこわばりや倦怠感がなくなったようです。
- ・ PMS（月経前症候群）もなくなったとのこと。
- ・ 現在、症状が落ち着いてはいますが、身体にストレスかかると症状が再発する恐れがありますので、月に2～3回の診療を継続しています。

使用した主要なツボ

- ① 欠盆（ケツボン） ② 膏肓（コウコウ）
③ 肺俞（ハイユ）

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・ 今回のケースのように薬の服用が難しいなどの症状を訴える患者様は、養生のプロだったり、専門医並みの知識をお持ちの方が多くいらっしゃいます。
- ・ それでも、なかなか体調がよくならないなど悩みを抱えています。鍼と灸は免疫力を上げたり、今まで停滞した症状を変えるきっかけになることもあります。
- ・ 特に経絡（けいろく）治療ではその人その人を診て、施術の方針を決めていきます。漠然とした訴えや、その方の癖、体質などが治療のヒントになることも多くあります。身体の不調が少しでもある方はぜひお悩みをご相談ください。かならず、改善、軽減できるきっかけになるはずです。